

2021年3月14日(日)14:40～ まほろん 第7回文化財講演会

## 中世のムラ 一北と南から一

福島県文化センター 飯村 均

### はじめに (図1)

まほろんの初代館長である藤本強氏は、「もう二つの日本文化」として「北の文化」と「南の文化」の理解の重要性を提唱し、「中の文化」を中心としたこれまでの日本史に一石を投じた(藤本 1988)。

北海道の擦文文化期・アイヌ文化期や、南島の貝塚時代・グスク時代は、文字史料が極めて少ないことは周知のことであり、その歴史を解明するために考古学の果たす役割は大きいと、私は考えている。

そこで、「中の文化」で「中世」と呼ばれる時代の、「北の文化」「南の文化」の地域における、「ムラ」=「村・村落・集落・村落共同体・屋敷・屋地など」と呼ばれる遺跡を紹介し、その実像を考えてみたい。

### 1 「北の文化」のムラ(図3～8)

北海道勇払郡厚真町 厚幌ダム建設関連遺跡群

### 2 「南の文化」のムラ(図2・図9～14)

沖縄県八重山郡竹富町 竹富島クマーラ・ハナスク遺跡、新里村遺跡

沖縄県八重山郡竹富町 波照間島下田原城・マシユク遺跡

沖縄県石垣市 石垣島フルストバル遺跡

### 3 「中の文化」と比較して(図15～17)

新潟市馬場屋敷遺跡下層

都市・鎌倉

『陸奥国骨寺村絵図』

## 引用文献

- 財団法人アイヌ文化振興・推進機構ほか 2001『よみがえる北の中・近世 挖り出されたアイヌ文化』
- 厚真シンポジウム実行委員会他 2015『厚真シンポジウム 遺跡が語るアイヌ文化の成立—11～14世紀の北海道と本州島』
- 天方博章・乾哲也 2013『ヲチャラセナイチャシ跡・ヲチャラセナイ遺跡—厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書5—』厚真町教育委員会
- 天方博章・乾哲也・小野哲也 2011『オニキシベ2遺跡—厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4—』厚真町教育委員会
- 飯村均 2009『中世奥羽のムラヒマチ 考古学が描く列島史』東京大学出版会
- 飯村均 2014『中世のムラ—北から—』藤原良草編『中世人の軌跡を歩く』高志書院
- 飯村均 2015a『中世奥羽の考古学』高志書院
- 飯村均 2015b『五 遺跡からみる中世前期東北の社会』七海雅人編『東北の中世史 2 鎌倉幕府と東北』吉川弘文館
- 飯村均 2017『ムラが消えた—ムラ研究の可能性—』『考古学と中世史研究 13 遺跡に読む中世』高志書院
- 飯村均 2018『東北地方の物流と移動』木村茂光・湯浅治久編『生活と文化の歴史 10 旅と移動—人・流と物流の諸相』竹林舎
- 飯村均 2019『やきものから見える価値観—北から—』『貿易陶磁研究』No.39 日本貿易陶磁研究会
- 一関市博物館 2008『中世莊園骨寺村』
- 乾哲也・小野哲也 2007『上幌内モイ遺跡(2)—厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2—』厚真町教育委員会
- 内田順子 2020『映し出されたアイヌ文化 英国人医師マンローの伝えた映像』吉川弘文館
- 工藤武・大石直正ほか 2004『骨寺村莊園遺跡』一関市教育委員会
- 黒田日出男 1996『特論②網代壁・板壁・土壁 町屋イメージの変貌』『絵巻物に建築を読む』東京大学出版
- 小野正敏ほか 1999『村が語る沖縄の歴史—歴博フォーラム「再発見・八重山の村」の記録』新人物往来社
- 小野正敏編集代表 2001『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会
- 川上貞雄ほか 1983『馬場屋敷遺跡等発掘調査報告書』新潟県白根市教育委員会
- 斎木秀雄 1991『板壁掘立柱建物跡の提唱』『中世都市研究』第1号中世都市研究会
- 斎木秀雄ほか 1993『神奈川県・鎌倉市 佐助ヶ谷遺跡』佐助ヶ谷遺跡発掘調査団
- 玉井哲雄ほか 2004『日本列島南北端の住居形成過程に課する学際的研究 2001年度～2003年度科学的研究費補助金(基盤研究(AX))研究成果報告書』研究代表玉井哲雄(千葉大学工学部教授)
- 藤本強 1988『もう二つの日本文化 北海道と南島の文化』東京大学出版会
- 村木二郎ほか 2020『国立歴史民俗博物館「海の帝国琉球—八重山・宮古・奄美から見た琉球—」遺跡から見た琉球列島のグスク時代 資料集』村木二郎(プロジェクト代表)

	北 海 道	南 島	本州・四国・九州
前1000	縄 文 化	貝塚時代初期の文化 (縄文文化)	縄 文 化
前 500			弥 生 文 化
1			古 墓 文 化
500	縄繩文化	貝塚時代後期の文化	
1000			奈良・平安時代
1000	オホーツク文化		ア メ リ カ 時 代
1500	イヌクシの時代		ダスク 時 代
			鎌倉・室町時代
			江 戸 時 代

表1 「北海道の文化」、「中(本州・四国・九州)の文化」、「南(南島)の文化」対照表。

図1 「北の文化」「中の文化」「南の文化」対照表(藤本 1988)

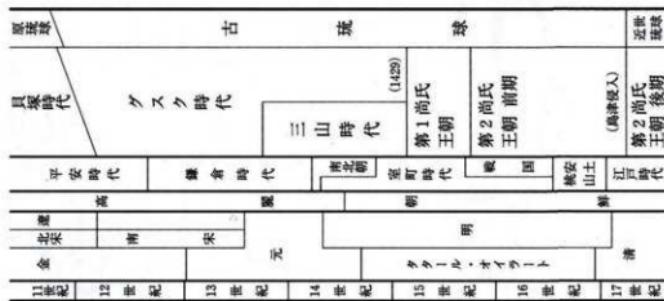


図2 琉球関係年表(小野 2001)

見の中・近畿管内

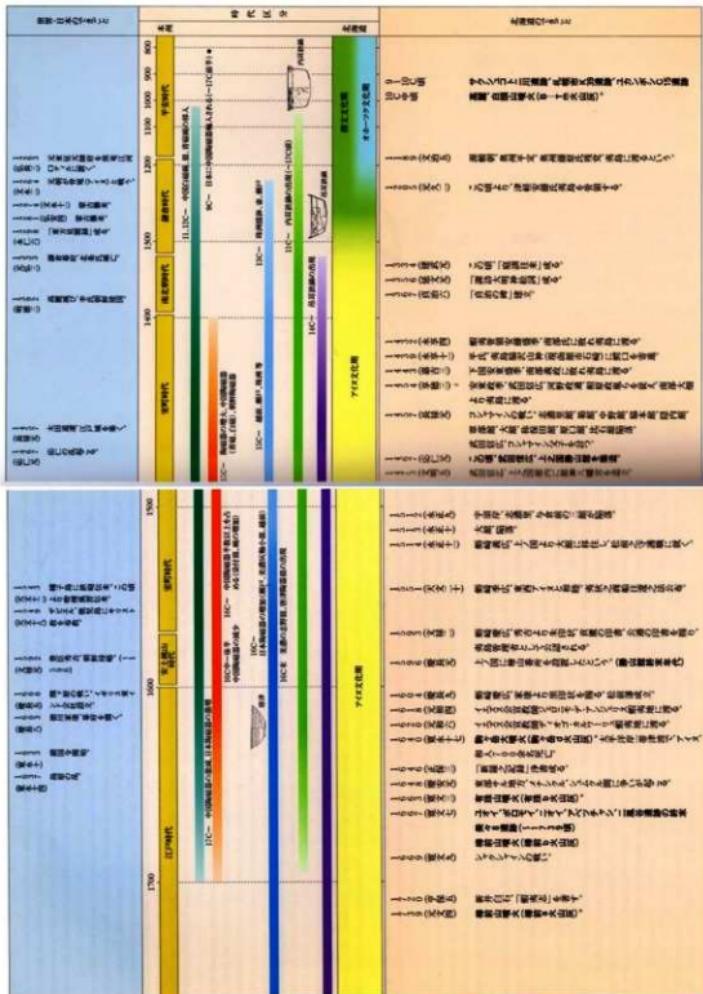


図3 北の中・近世略年表(アイヌ文化振興・推進機構ほか、2001)

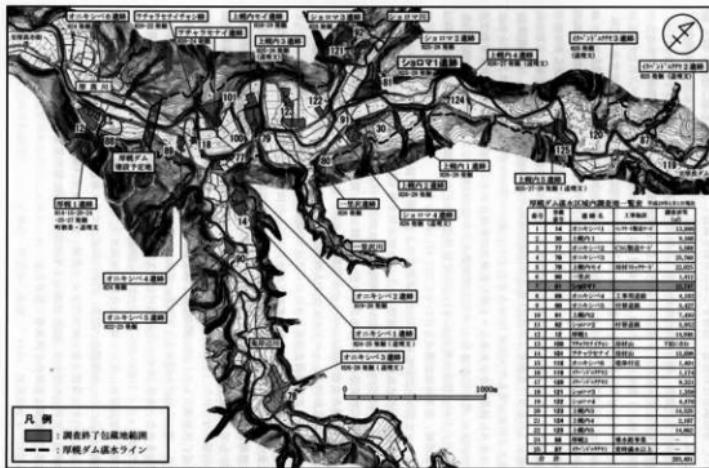


圖 1-1 厚板ダム建設事業関連埋蔵文化財包囲位置図

図4 厚幌ダム建設関連遺跡群

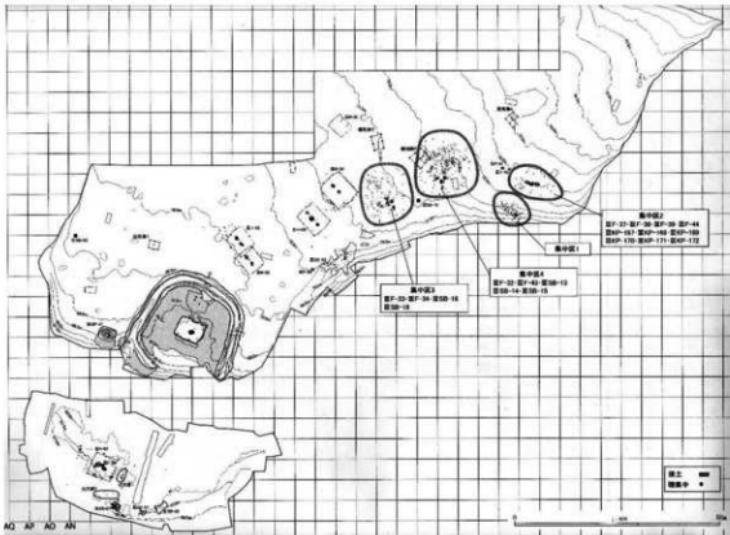


図5 オチャラセナイ遺跡・オチャラセナイチャシ(天方・乾 2013)

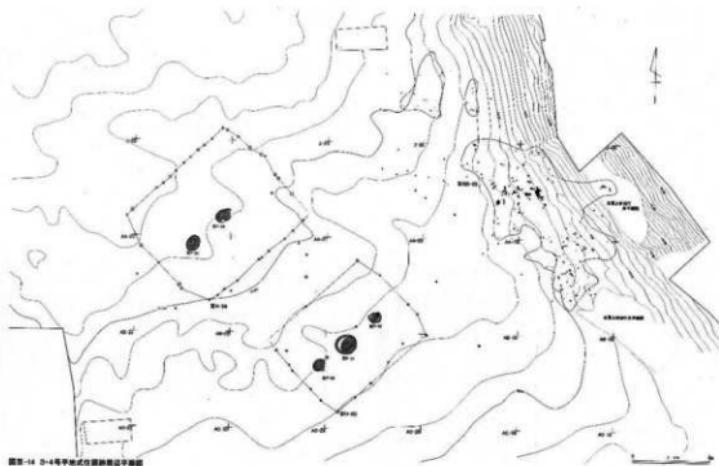


図6 オチャラセナイ遺跡3・4号平地式住居跡(天方・乾 2013)

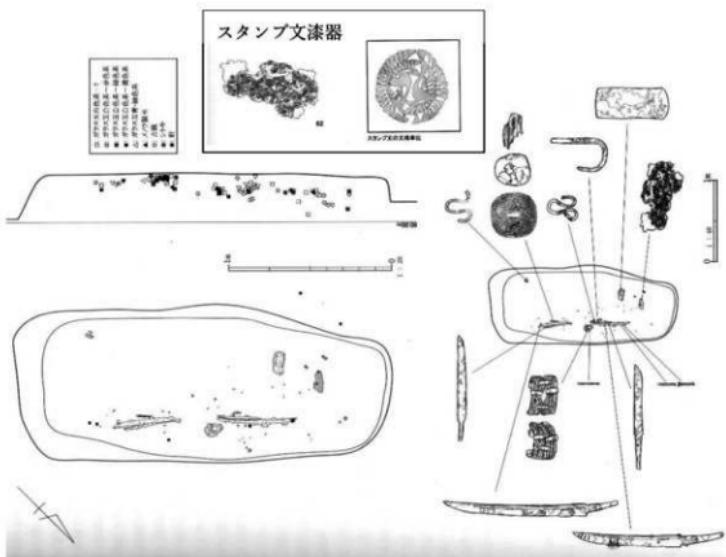


図7 オニキシベ2遺跡1号土坑、出土スタンプ文漆器(天方・乾・小野 2011)

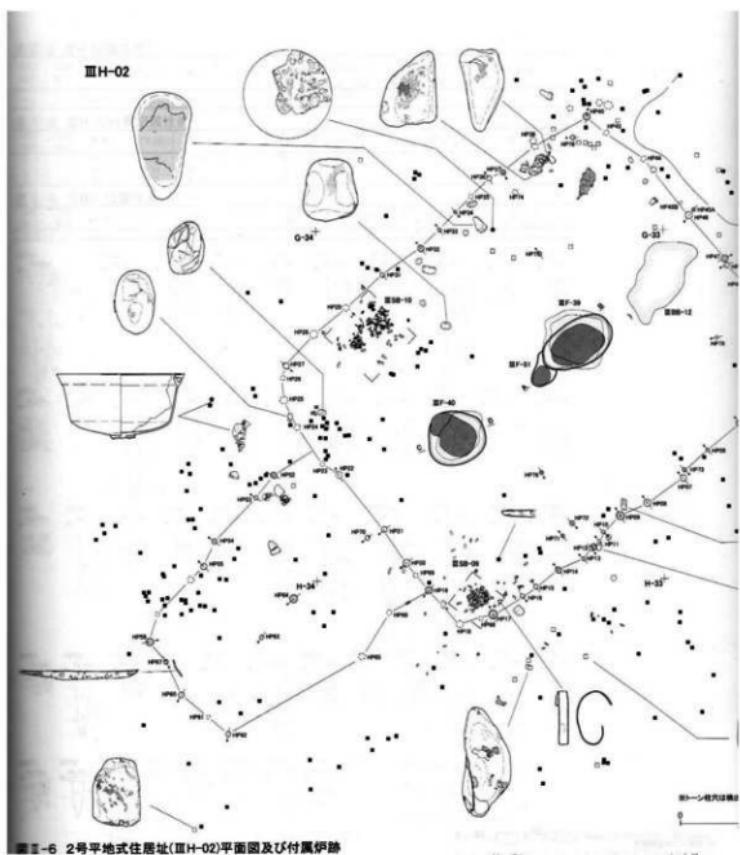
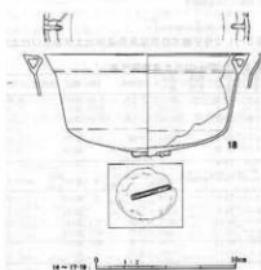
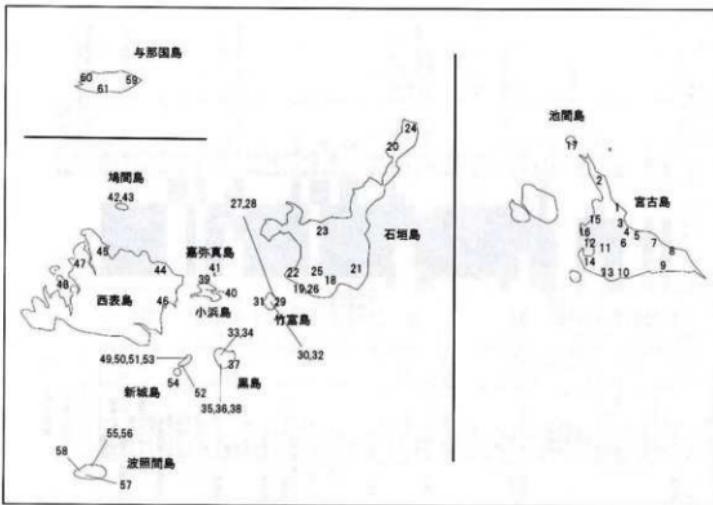


図8-6 2号平地式住居址(II-H-02)平面図及び付属埋跡

図8 上幌内モイ遺跡2号平地式住居跡  
出土内耳鉄鍋(乾・小野 2007)





18:フルストバス遺跡 27-28:新里村遺跡 29:クマーラ・ハナスク遺跡

図9 中世先島のムラ(村木ほか 2020)

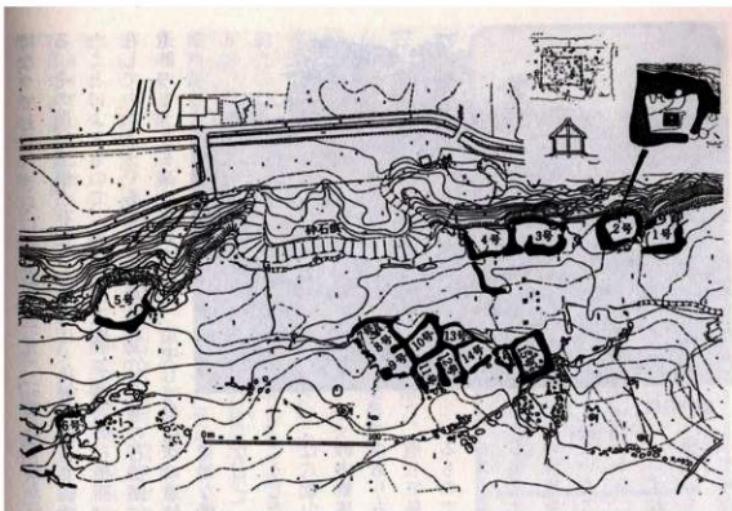


図10 石垣市フルストバル遺跡(村木ほか 2020)



図5 竹富島・クマーラ・ハナスク遺跡模式図

図11 竹富町クマーラ・ハナスク遺跡(村木ほか, 2020)

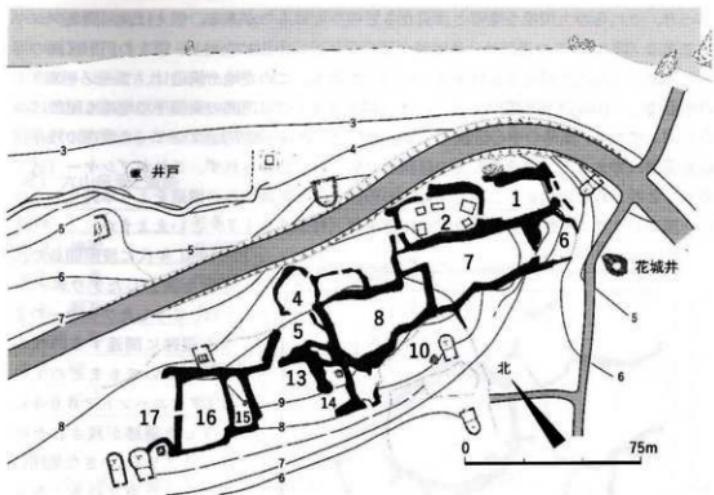


図6 竹富島・新里村遺跡模式図

図12 竹富町新里村遺跡(村木ほか, 2020)

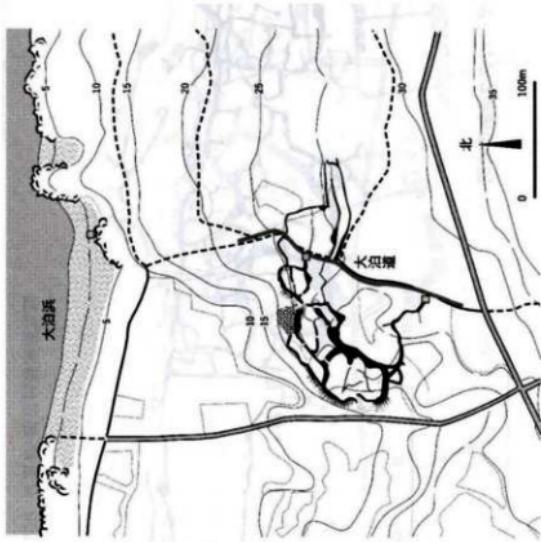


図13 竹富町波照間島下田原城(村木ほか2020)

図3 波照間島・ブリブチ遺跡(下田原城)模式図

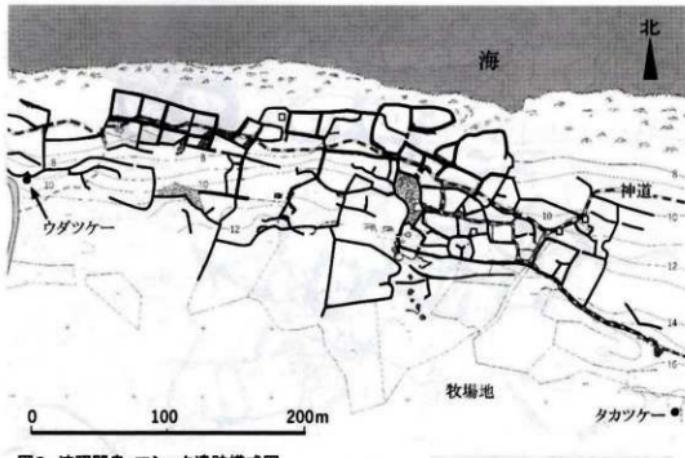


図2 波照間島・マシュク遺跡模式図

図14 竹富町波照間島マシュク遺跡(村木ほか2020)

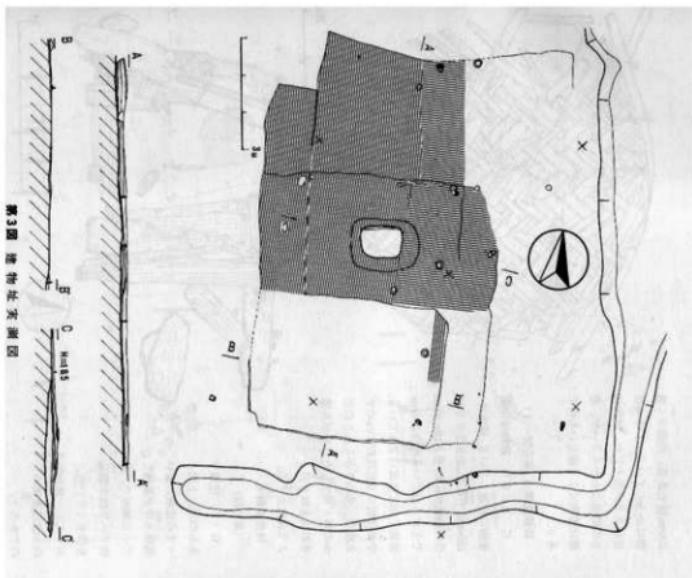


図 15 新潟市馬場屋敷遺跡下層建築址(川上ほか 1983)



図 16 鎌倉市佐助ヶ谷遺跡第6期遺構群(斎木ほか 1993)



国指定重要文化財『陸奥国骨寺村絵図』詳細図(複製) 原典は中尊寺蔵

図 17 『陸奥国骨寺村絵図』詳細図(複製)(工藤・大石他 26004)